

株式会社 エックスネット

(証券コード: 4762)

株式会社エックスネット
2019年3月期・第2四半期決算説明会

XNET

Application Outsourcing

2018年11月7日

エックスネットのご紹介（会社概要・沿革）

- 当社は創業以来27年間「資産運用管理専門」のシステム提供と業務サポートを行う企業です。
- 生命保険会社、損害保険会社、投信会社、投資顧問会社、信託銀行、各種銀行などの機関投資家を中心に160社を超えるお客様にご利用頂いています。

会社概要

会社名	株式会社 エックスネット
住所	東京都新宿区荒木町13番地4 住友不動産 四谷ビル4階
代表者	代表取締役社長 茂谷 武彦
設立	1991年6月3日(平成3年)
資本金	7億8,320万円
従業員数	182名(2018年9月末現在)
事業内容	- 資産運用管理アプリケーションの アウトソーシング事業「XNETサービス」 - 投資関連情報の配信サービス事業 - STPサービス事業（電子的な情報伝達を 仲介するサービス）
主要顧客	銀行を含む広義の「機関投資家」

沿革

- 1991年 会社設立（野村證券・野村総研出身者3名で創業）
- 1997年 「バックオフィス」向けサービス開始
- 1998年 「フロントオフィス」向けサービス開始
- 2000年 「NASDAQ JAPAN」市場の第1号銘柄として上場
- 2000年 センター型「STP」サービス開始
- 2001年 バックオフィス向けサービスに「約定主義対応」を追加
- 2002年 有価証券業務の「アウトソーススキーム」を確立
- 2003年 「東京証券取引所」市場第2部に上場
- 2003年 「投信計理」サービス開始
- 2003年 議決権行使管理に対応(スチュワードシップ・ソリューション)
- 2004年 東京証券取引所市場「第1部」へ指定替え
- 2007年 投信計理サービスにバックオフィス対応を追加
- 2009年 NTTデータと資本業務提携、連結子会社となる
- 2015年 「個人向け信託管理サービス」(地方銀行向け)開始
- 2017年 日本初の「国内籍外貨建投信計理」サービス開始
- 2017年 SOサービス拠点として札幌にオフィス開設(10月)

地方銀行で拡大「個人向け信託管理サービス」

個人向け信託管理サービス 国内実績No.1

三井住友銀行
「家族リレー信託」パンフレット

伊予銀行
「家族の絆信託」パンフレット

南都銀行
「家族円満」パンフレット

信金中央金庫
「こころのボタン」パンフレット

信金中央金庫
「こころのリボン」パンフレット

個人向け信託ニーズ獲得による成長戦略

個人向け信託ニーズの拡大 ⇒ 現代社会が抱える問題解決へ！

地方銀行

相続対策

遺言代用信託

(商品内容) 契約者死亡時の金銭支払いがスムーズに行える信託商品

(ニーズ) 簡便な手続きで妻や子に対する相続対策を行いたい！

生前贈与対策

暦年贈与型信託

(商品内容) 1人あたり年間110万円まで生前贈与が行える信託商品

(ニーズ) 子や孫に生前贈与を行うと共に、相続税対策も行いたい！

～2030年へ向けて(相続市場)～

- 次世代への資産移転1,000兆円の獲得
- 認知症高齢者の資産215兆円の獲得(現在143兆円)

認知症対策

後見制度支援信託

(商品内容) 認知症後に家庭裁判所を介し財産管理が行える信託商品

(ニーズ) 認知症と診断された後の財産管理対策を行いたい！

認知症対策＋振込詐欺対策

解約制限付信託

(商品内容) 自らが指名した親族等に財産管理を任せられる信託商品

(ニーズ) 認知症と診断される前に親族等に財産管理を任せたい！

Outsourcing
Expert XNET

①圧倒的な導入実績
(自行取扱い＋代理店スキーム)

②信託ノウハウの高さ
(個人向け信託コンサル)

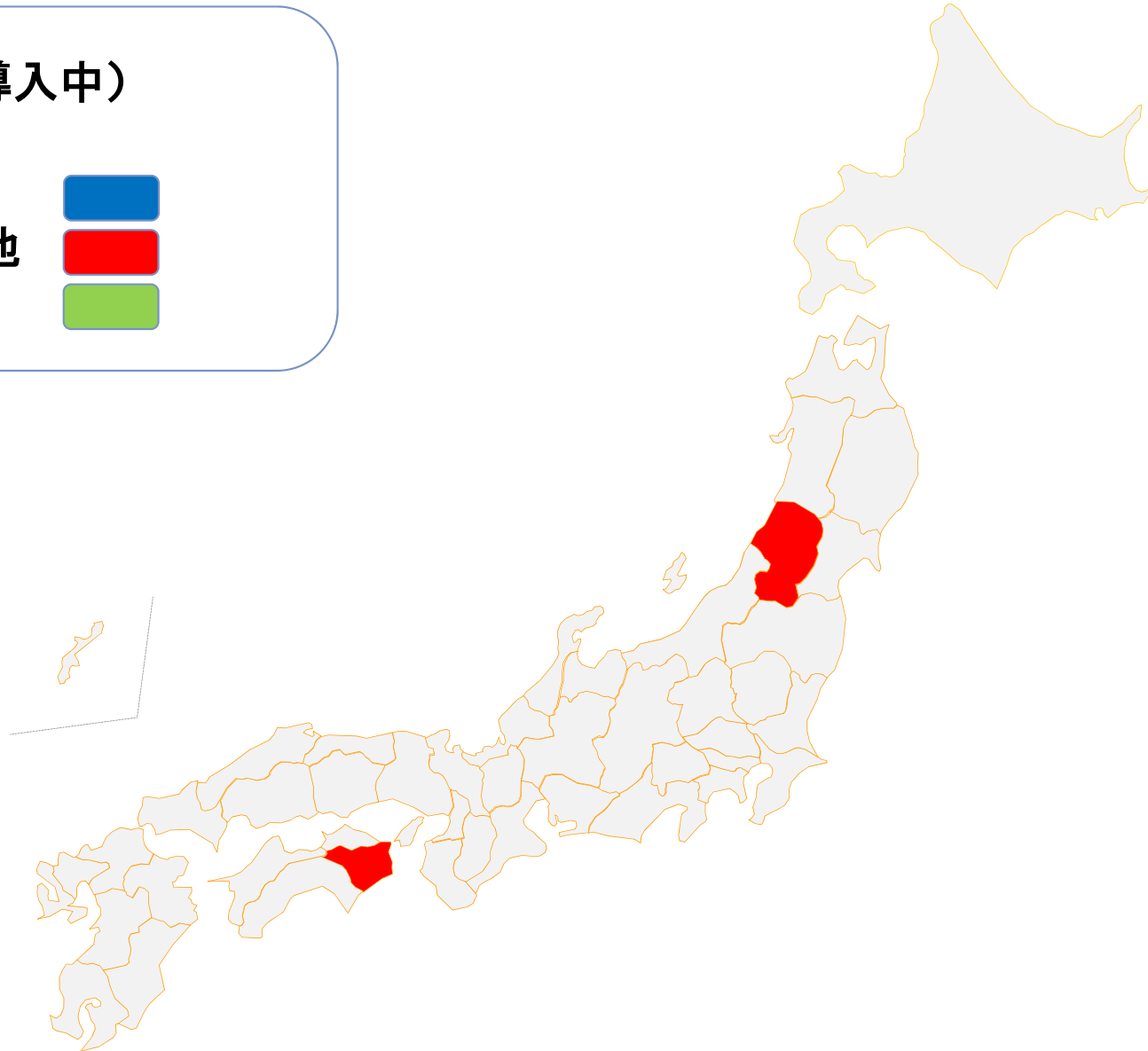
③ワンストップサービスの提供
(アプリケーション＋基盤環境提供)

信用金庫

地方銀行への浸透 ・2009年頃(NTTDグループ前)

凡例(網掛けは導入中)

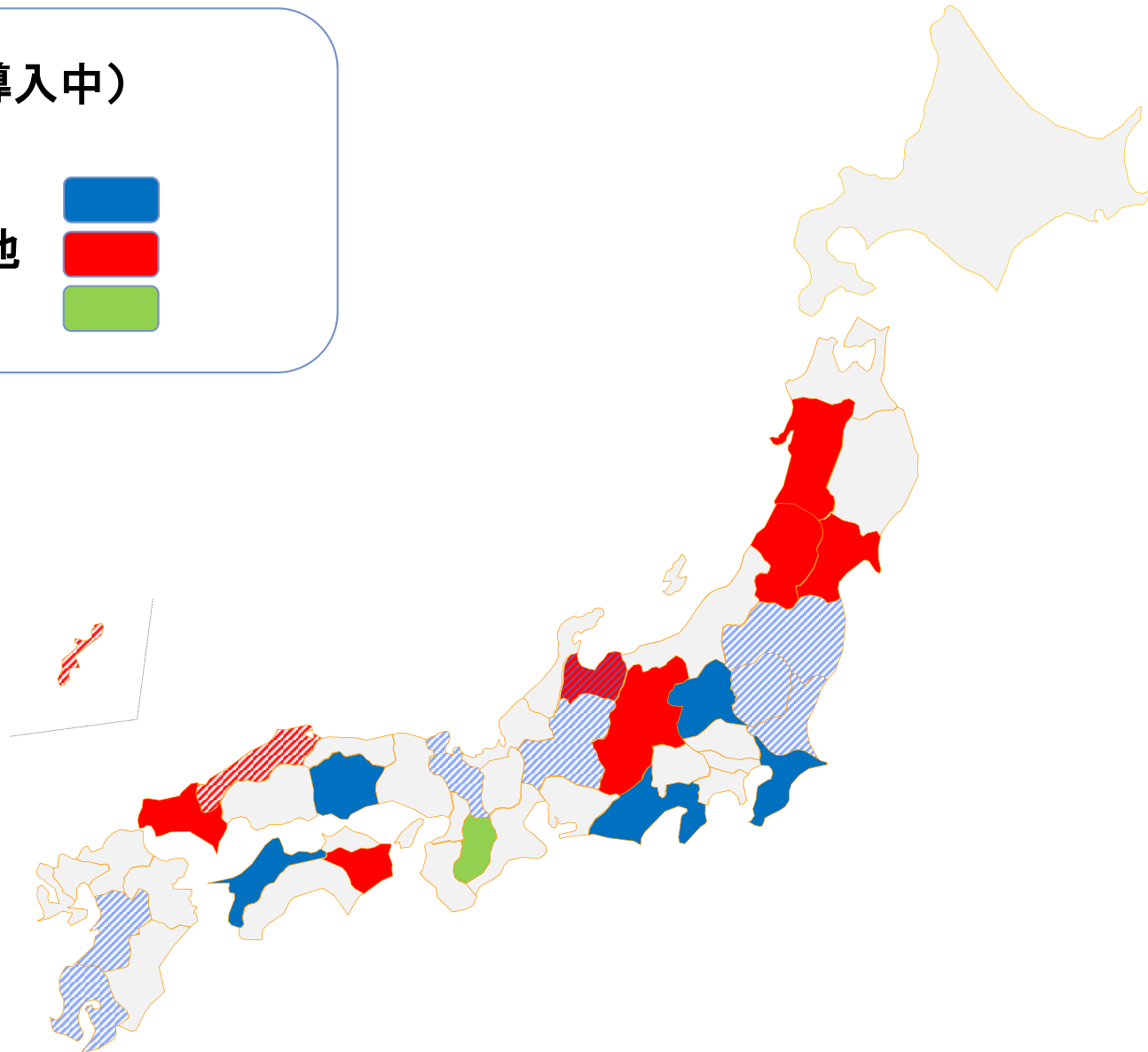
個人向け信託
有価証券バック他
両サービス



地方銀行への浸透 ・2018年以降予定

凡例(網掛けは導入中)

個人向け信託
有価証券バック他
両サービス



XNETサービスの業態別導入実績

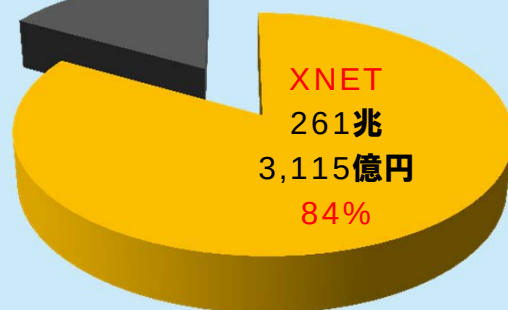
フロント、ミドル、バックを含めた資産運用管理システムのご利用実績は下表の通りです。(2018年7月末現在)

生命保険	損害保険	投信 投資顧問	銀行/ 信託銀行/ 信用金庫 等	証券会社他	その他金融/ 事業会社
24	12	45	46	31	7

Pick Up

生命保険

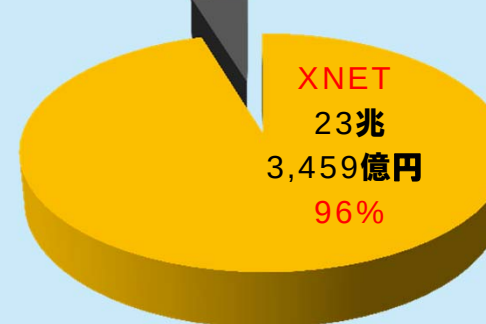
その他16%



【生保協会加盟全41社の有価証券運用総額(310兆1,790億円)に占めるXNET利用割合 (2018/3月期決算)】

損害保険

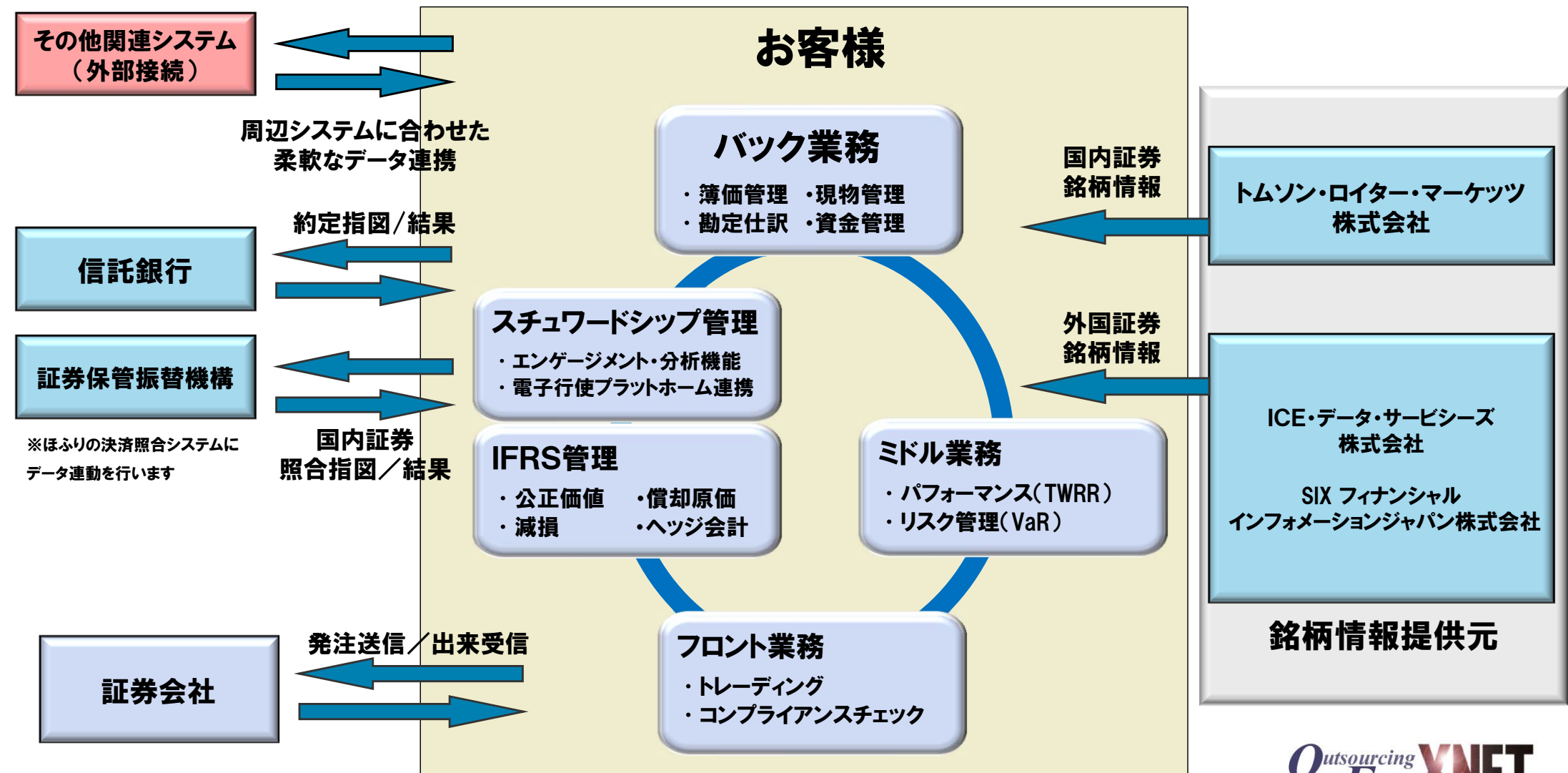
その他 4%



【損保協会加盟全26社の有価証券運用総額(24兆3,648億円)に占めるXNET利用割合 (2018/3月期決算)】

※OEM供給の「NISSAY-IT-XNET」実績含む
※導入中、導入決定先含む

XNETサービスの全体像は下記の通りとなります。
銘柄情報提供を含め、フロント～バックまでの資産運用管理業務を包括的にサポートしております。



XNETのビジネスモデル

コンセプト

「**XNETサービス**」とは…

お客様(**企業**)に

サービス型(**月々のサービス料**)で

システムを提供



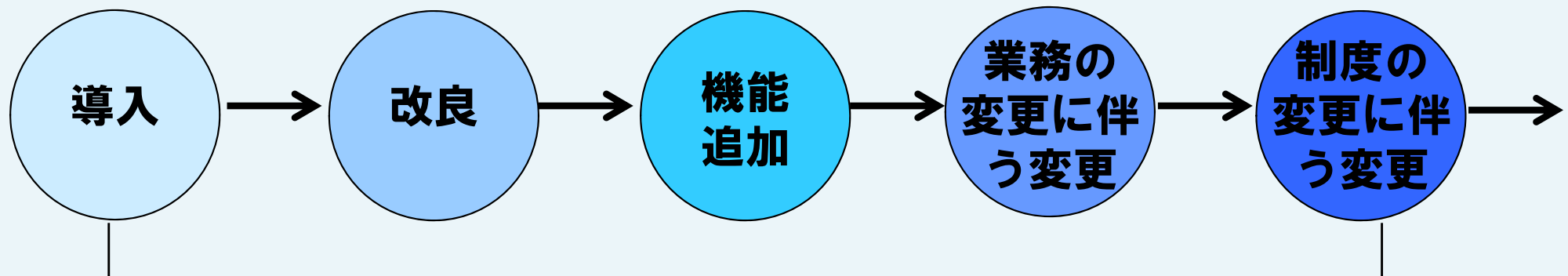
は創業以来1つの商品「XNETサービス」のみを推進

提供パターンの比較

	コンセプト	責任	業者
自社開発型	あなたの言われたものを作ります → コストは全額発注側負担 失敗リスクを1社単独で負担	発注する企業	SIベンダー ソフトハウス
パッケージ型	これを利用して下さい → 低額(但し変更・追加は高額)	販売する側	パッケージ ベンダー
サービス型	一緒にいいシステムを作りましょう → 変更・追加も含めて月額定額	両者の コラボレーション	XNET

「XNETサービス」のビジネスモデル

〈サービス型〉・・・陳腐化しないシステムの提供(現状よりスタートし、少しずつ改良、改善)



すべてを月々の固定のサービス料で対応

初期費用なし・追加投資なし

* XNETのメリットは？

- ・アプリケーションの著作権はすべてXNETが保有
- ・他社の利用時にも同一アプリケーションを展開・利用
- ・すべてのノウハウがXNETのアプリケーションに蓄積（知恵の共有）

お客様のご要望と共に「サービス提供範囲の拡大」

アプリケーション・アウトソーシング・サービス(AOS)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視
お客様作業

業務サービスの提供

インフォメーション・テクノロジー・アウトソーシング(ITO)

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視
お客様作業

業務サービスの提供

アプリケーション・マネジメント・アウトソーシング(AMO)
スマート・アウトソーシング・サービス(SOサービス)※

※ビジネス・プロセス・アウトソーシング
(BPO)サービスよりサービス名を変更

アプリケーション・
プログラムの提供

ハード・OS・
ミドルウェアの提供

「アプリケーション+基
盤」の設計・運用・監視

業務サービスの提供

XNETの第2四半期決算と今期の見通し

2019年3月期・第2四半期累計 前年同期との比較

「XNETサービス」は、引き続き堅調に推移

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	%
売上高合計	2,102	2,098	△0.2
XNETサービス	2,079	2,095	0.7
機器販売等	22	3	△83.9
売上原価	1,526	1,572	3.0
(うち、減価償却費)	(213)	(250)	17.7
販売管理費	215	217	0.9
営業利益	360	308	△14.4
経常利益	368	318	△13.5
四半期純利益	247	214	△13.1
1株当たり四半期純利益	29.92円	25.99円	—
営業利益率	17.2%	14.7%	—
1株当たり配当金（第2四半期末）	14円	14円	—

2019年3月期・第2四半期累計 4月発表予想との比較

売上高は僅かに予想を下回るも、利益は上振れ

	予 想	実 績	進捗率 (対通期予想)
	百万円	百万円	%
売 上 高	2,100	2,098	48.8
前年同期比(%)	△0.1	△0.2	
営 業 利 益	300	308	47.5
前年同期比(%)	△16.8	△14.4	
経 常 利 益	310	318	47.5
前年同期比(%)	△15.8	△13.5	
四半期純利益	210	214	47.7
前年同期比(%)	△15.0	△13.1	

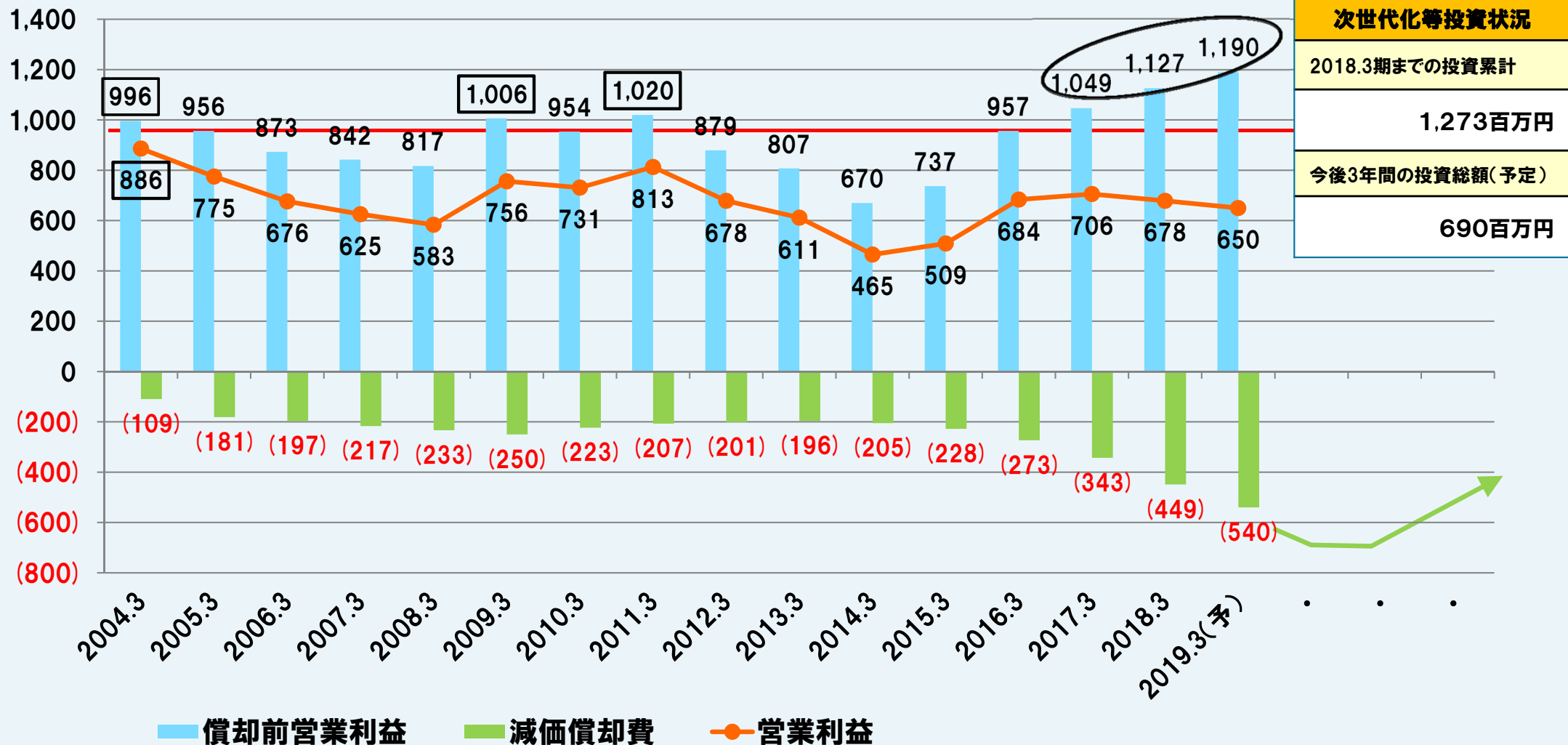
2019年3月期・通期業績予想

増収も、償却負担増により減益を予想（期初発表予想の変更なし）

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期業績予想	増減率
	百万円	百万円	%
売 上 高	4, 204	4, 300	2. 3
営 業 利 益	678	650	△4. 2
経 常 利 益	692	670	△3. 2
当 期 純 利 益	465	450	△3. 4

償却前営業利益(EBITDA)の推移

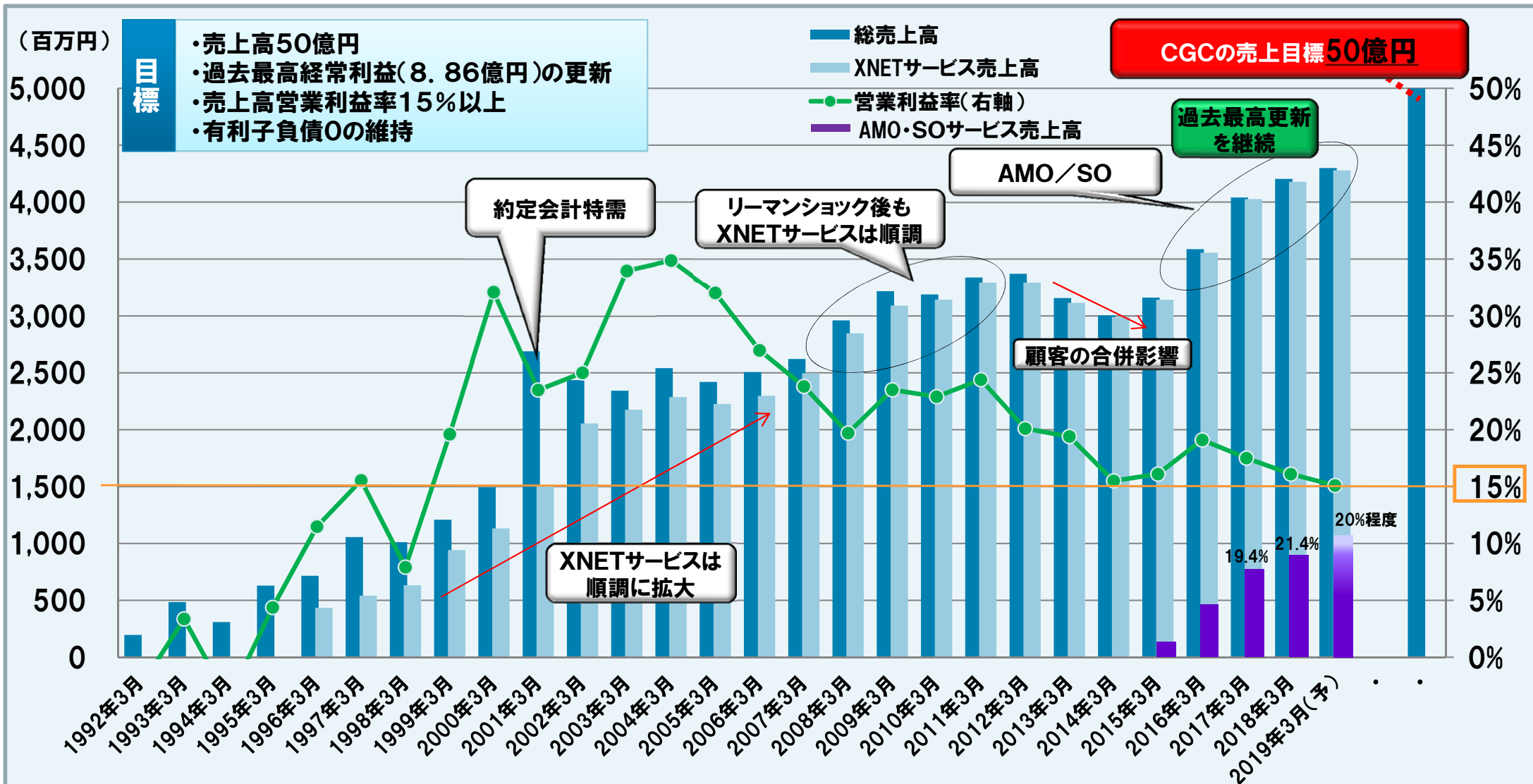
償却前営業利益(EBITDA)は過去最高水準を更新中



※2018年3月時点における投資実績・予定による償却額推移

創業以来の売上高推移

2014年3月期を底に、売上高は「新たな成長ステージ」へ



中期的経営戦略など



SOサービスの 位置付け

SOに対する目線

業務遂行の本質

当社

『システム利用料』
からの転換
↓
Operationという
『機能の提供』

事務コストを下げて
日本の資産運用業界の
競争力を向上
↓
最終的に投資家へ貢献

業務の**プロ**により、
最小の業務定義書で
最良・最善の成果提供
↓
運用会社の負荷最小
「変化」にも柔軟に対応

他社

BPOは自社システムの
維持のためのツール

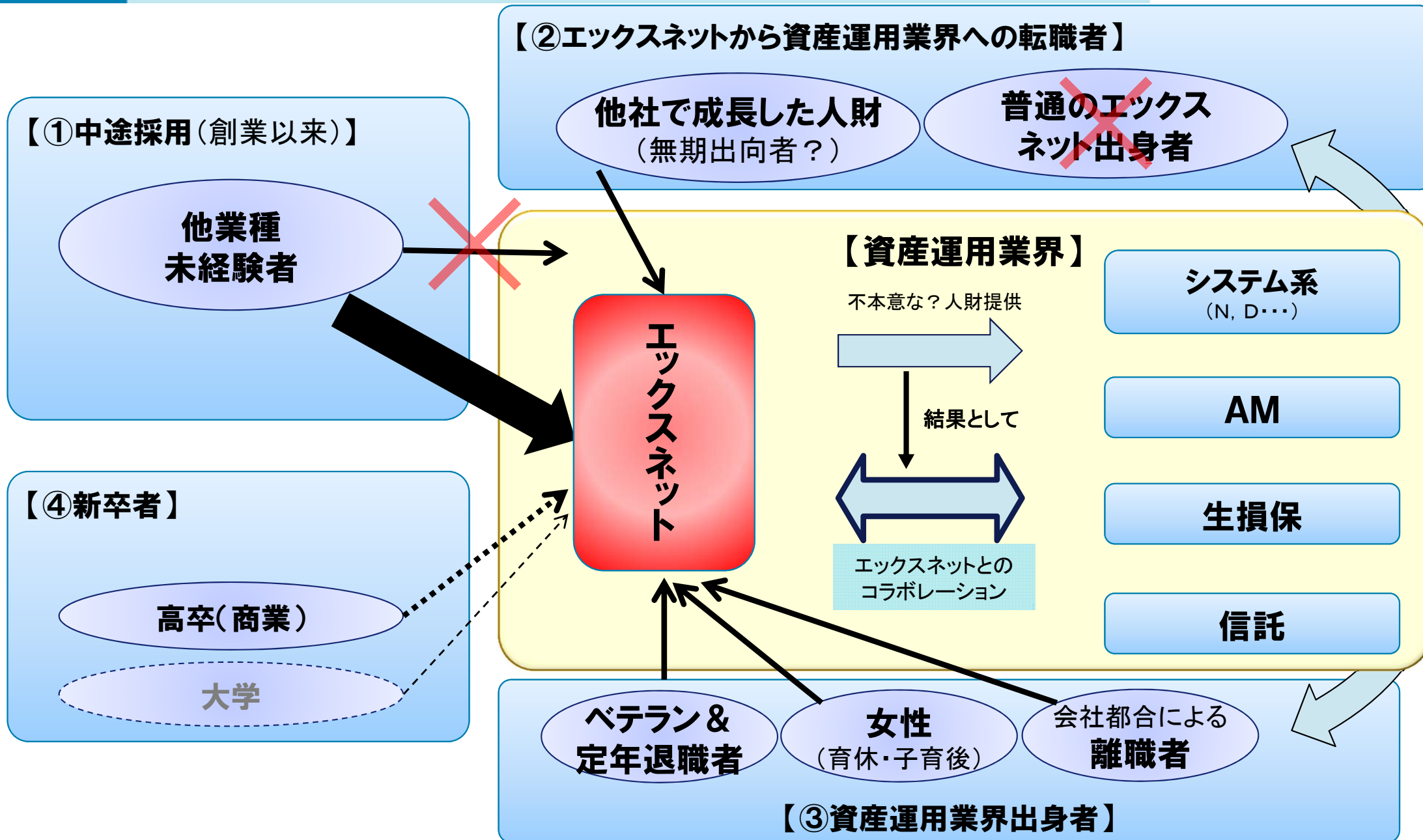
運用会社の業務も
文書化&オフショア化
↓
人件費の差額をシェア
(運用会社/受任会社)

膨大な業務定義書を元
に機械的な事務の提供
(定義外は逐次確認)
↓
運用会社の残留負荷大

XNETの成長戦略(新たな挑戦)



XNETの人財確保(採用)戦略



当社が目指す“三方よし→四方よし”の実現へ

当社は、様々なサービス提供を通じ、資産運用業界全体に広げていくことで、「四方よし」を目指す。



国民財産の形成
日本経済活性化
(日本再興戦略)

日本経済・国民

資産運用業界

未来よし

日本経済・国民

人生100年時代
に対応した
資産形成の実現

資産運用業界

運用収益獲得へ
人材シフト

エクスネット

資産運用業界
非競争分野の
プラットフォーム

